



南保 南保育園
主任保育士
眞下 恵子 先生

読んでもらう喜びを

絵本は園児たちの情緒や想像力を豊かにしてくれます。絵本から「ワクワク」や「ドキドキ」「何で？」など多くのことを園児たちは感じていきます。考え、発見することの楽しみや喜びが読書への興味にもつながっていきます。読み聞かせをしながら園児たちの表情をふと見ると、絵本の世界に入っていくのが分かります。一度だけでなく、何度も繰り返し読むことで絵から新たな発見をし、その繰り返しでお気に入りの一冊が見つかることも。さらに、学習能力の土台作りとなる観察力や集中力も身に付いていきます。

絵本は子どもを成長させるだけでなく、親子のコミュニケーションを取る一つのきっかけにもなります。読み聞かせは、親のぬくもりや心地よい声が心の安定につながり、親子の絆を深めます。特別な準備なしに始められる親から子への愛情表現のプレゼントの一つとも言えます。



まずは図書室へ

近年、図書室を利用する児童が減ってきています。読書は想像力や読解力を育ててくれます。皆さんにとって図書室はどんな場所ですか？小学校の図書室は読書の入口です。まずは一度立ち寄ってみてください。そのためにも「図書室へ来たら楽しい」という雰囲気づくりをモットーにして読書の推進活動に取り組んでいます。先生たちのおすすめる本の紹介や借りた本でマスを埋まるビンゴゲームなど、取り組みはさまざまです。

図書室という場を知ってほしいんです。ジャンルは幅広く、小説はもちろん、他にも授業に役立つような本も数多くあります。読みやすいように絵が多く使われた本だっています。でも、そこに本があることを知ってもらえないと利用してもらえず、本を手にとってもらえません。これを機に一度、図書室へ来てみませんか。



長小 長柄小学校
学校司書
長島 久枝 先生

好きなときに読みたい本を

本は誰かに言われて読んでも、楽しいと感じられません。自分から読みたいと思えることが重要なことです。読書嫌いの子どもに「読んでみて」と言っても絶対に読まないでしょう。

では、どうするのか。それは生徒とのコミュニケーションがヒントになります。「この子はこんなことに興味があるんだ」「この子はスポーツを頑張っている」。この気付きからニーズのある本を選び、図書室に置くようにしています。そうすることで興味を引く空間が出来上がり、自然と生徒たちは足を運んでくれるようになります。

読書は多くの知識を得られるだけでなく、ストレス緩和にも効果があるそうです。知識と癒しであふれた空間は生徒たちのオアシス。読書は楽しいと思ってもらえれば十分。動画やSNSを見る時間が好きなように、読書の時間も好きになってほしいです。



邑南中 邑楽南中学校
学校司書
豊島 万利子 先生

読書の世界へようこそ

読書の世界へ

読書をしていきますか？電子化が進む現代でも本から得られるものがあります。個々に合った「読書」の関わり方を見つけてきつかけとなるよう、いろいろな視点からの声をお届けします。

人のさまざまな力を育む「読書」の力

近年、生活環境の変化や、さまざまなメディアの発信・普及などを背景として「読書離れ」「活字離れ」が指摘されています。読書は語彙力や文章力、論理的思考力を高め、脳の活性化やストレス解消、共感性・想像力の向上をもたらします。知識の取得によるキャリアアップやメンタルケア、認知症予防など、人生の豊かさや仕事の生産性向上に直結するたくさんメリットがあります。また、子どもにとって、人に絵本を読んでもらう喜びや感動を知り、保護者以外の大人との出会いや触れ合いを通じて、自己肯定感が高まるとされています。

変化の激しい現代社会の中、自らの責任で主体的に判断を行いながら自立して生きていくためには、必要な情報を収集し、取捨選択する能力を身に付けていかなければなりません。つまり、これからの時代においては読み・調べることの意義は、増していくことはあっても決して減ることはありません。

このように見たとき、本を読む習慣、本を通じて物事を調べる習慣を子どもの時期から確立していくことの重要性が再認識され



櫻井みゆきさん・眞真くん
(西ノ郷宮内中島・24区)

町の絵本の読み聞かせに参加した親子

読み聞かせボランティア「オリープ」の読み聞かせに参加しました。読むのが上手な人が読み聞かせしてくれるので、家で読んであげるよりも子どもが聞き入っていました。絵本を通して動物の名前を覚えられて、子どもの成長も促してくれるので、やっぱり絵本はいいですね。

ています。そのためには学校教育においても、それぞれの家庭や地域と連携しながら、読書の習慣付けを図る効果的な指導を展開していく必要があります。そこで読書がもたらす力について、保育園・学校図書先生や町立図書館の職員、実際に読み聞かせに参加した親子に話を聞いてみました。

読書がある生活へ
本から身に付く個人の力

読書は語彙力を高め、想像力を豊かにし、さまざまな人の考え方や知識・情報を理解する力を育ててくれます。

その中でも紙の本は、装丁や挿絵によって本の印象がガラッと変わるのが面白いところ。それから、本にしおりを挟んだとき「ここまで読んだ」という達成感を味わえるのも魅力の一つです。

そんな本が多く集まる場所が町立図書館。小説はもちろん、勉強や趣味で活用できる本もそろっています。意見が分かれるテーマなら、さまざまな意見の本を用意しています。そこから自分で考え、自分なりの答えを見つけてほしいからです。

しかし、読書の習慣は急に身に付くものではありません。なるべく小さい頃から、家族と一緒に本を読むことで身に付けてほしいですね。



町立図書館
館長兼管理係長
中島 和美

忙しいと本を読む時間がないという人にこそ町立図書館へ来てほしいです。たくさん本を見てみると、「こんな本があるんだ」「これ好きかも」といった自分を見つめ直す時間となり、新たな気付きを与え、心を潤すことができます。

読書にはいろいろな種類があります。物語を読むだけが読書ではありません。町立図書館には写真が多い本や絵本といった眺めるだけでも満足感のある本もたくさんあるので疲れて狭まった視野を広げてくれます。本はエンタメなのです。

電子書籍で読む、それも立派な読書です。自分に合ったスタイルを見つけていき、その中で紙の本にも魅力があるということ。頭の片隅に置いてもらえたらうれしいです。心を豊かにできる方法の一つとして読書を加えてみませんか。



町立図書館
奉仕係長
若旅 佐矢子

心をもっと豊かに
本に触れて世界が広がる

本から広がる新たな世界 豊かな心を育む「読書」

読書は「心の栄養」

幼い頃から読書することで人は多くの単語を覚え、語彙力を高めることができると言われています。扱える言葉が増えるとは者との間でコミュニケーションを取る際にも役立ち、人との関係性を構築する上での自信につながっていきます。

そんな読書に誰もが最初から抵抗なく取り組めるわけではありません。以前私が勤務していた学校でも読書をまったくしない生徒がいました。ある時、その生徒に一冊の本を薦めると、その本を夢中になって読んでいたのです。その生徒にとって夢中になれる魅力があったのでしょう。きっかけは



町教育委員会
小林 淳一 教育長

人それぞれ、本人にとって興味を引く本と出会えたとき、それが読書へ夢中になれる瞬間だと思えます。その出会えた本は、人生の壁にぶつかったとき、立ち直るための心の栄養となり、乗り越える力となります。

読書が苦手な人は映画やドラマの原作小説を読んでみてください。映像化されているものを改めて小説で文章として読んでみることで、新たな発見や、物事の見方が変わってくるかもしれません。それが本を好きになるきっかけになれば幸いです。

町が見据える
読書のある生活

今は読書が苦手でも、本を借りる読むことが日常となった町を目指しています。邑楽町では本を身近に感じてもらえるように小学校では保護者や地域の人による読み聞かせの時間を設けています。そこから、豊かな心を育み、他人の気持ちに寄り添える大人に成長することを願っています。

そのために、より一層読書が好きになれる環境づくりが重要となります。教育機関での取り組みの他に、一人一人が本と触れる時間を意識してみてください。気になるものがあれば書店や図書館で探してみるのもいいですね。そこから新たな本の出会いや、新しい世界が広がることでしょう。

本との 触れ合い



絵本の読み聞かせをしよう南保育園の園児たち



はくちょう号で本を借りる長柄小の児童たち



団体貸出で本を借りる邑楽中の生徒たち



ゲームや動画サイト、SNS。子どもたちの興味を引くものがあふれる時代。読書率が低下するなど、本に触れる機会は徐々に減りつつあります。

そんな時代の中でも、本を手に取り、読んだ人にはそれぞれに世界が想像され、仲間とその世界観を語り合えるなど、読書には人々を夢中にさせる力があります。

読書がもたらす喜びや笑顔、人と人とのつながりは、これからの子どもたちの未来を明るく照らしてくれるはず。

読書がさらに広まり根付くことで、幸せあふれる邑楽町になることを願って。

ひらけ、本の扉

- 町立図書館
- ▶ 開館時間 火曜日～日曜日午前9時～午後6時
 - ※ 休館日は毎週月曜日、毎月の土・日曜日・祝日以外の月末日、特別資料整理期間、年末年始。
 - ▶ 問合せ ☎ 88-5900
- 「オーリーブ」による読み聞かせ
- ▶ 日時 毎週木曜日午前11時
 - ※ 町立図書館休館日と祝日を除く。
 - ▶ 場所 町立図書館内「おはなし室」